

第1回「てつがくカフェ Plus」を開催します！

■■■■■ 「表現をめぐる」 ■■■■■

芸術的な表現は、しばしば人々に不快な感情を抱かせることがあります。そのため、〈表現〉はときに規制を受けることとなりますが、その〈規制〉は目に見えとは限りません。たとえば、〈震災〉を主題にした映画になかなかスポンサーが付かないという事実は、企業と観衆が徒党を組んで、不快だと思われる〈表現〉に対する“目に見えない”〈規制〉を仕掛けているとも言えます。とはいえ、そもそもこの不快といった感情に〈表現〉を〈規制〉するほどの〈正当性〉はあるのでしょうか。

通常、〈表現〉の受け取り方はその人次第だと見なされています。たとえばあなたが「この絵が好きだ」と言ったとき、隣で同じ絵を見ていた他人に「そんなはずはない」と否定されたとします。おそらくあなたは憤慨するでしょう。他の人がどう思おうと、あなたがその絵を見て好ましい〈感情〉を抱いたことは確かなのだから。だとすれば、ある〈表現〉に対して〈不快な感情〉を抱くのもまた、あくまであなたの受け取り方といえます。しかしながら、現に〈表現〉は各人の〈不快な感情〉を理由に〈規制〉を受けることがあります。個人の感想がどうしてそのような特権をもちうるのでしょうか？ この〈規制〉の根拠はいわゆる「多数決の原理」なのでしょうか？ つまり「多くの人々が不快に思ったから」ある表現は〈規制〉されるのでしょうか？ しかしそれでも依然として、その〈不快な感情〉が「正しい」ことにはなりません。〈表現〉の「正しい」受け取り方が「多数決」で決まることなどないでしょう。そもそも〈表現〉について「正しい受け取り方」などあるのでしょうか？ さらに言えば、〈表現〉に「正しい内容」などあるのでしょうか？

第1回「てつがくカフェ Plus」では、こうした〈表現〉に対する受け止め側の〈感情〉を糸口として、表現をめぐる問題について参加者のみなさんとともにじっくりと考えてみたいと思います。（文責：綿引 周）

■「てつがくカフェ Plus」とは■

通常のとつがくカフェを行いながら、対話の進め方やテーマの絞り方、さらにはファシリテーション・グラフィックの書き方などを参加者どうしで同時進行的に問い直す、メタ・ダイアログをプラス（plus）したトレーニング型の「てつがくカフェ」です。

■第1回「てつがくカフェ Plus」■

テーマ：「表現をめぐる」

日時：2012年10月22日（月曜日）19:00～21:00

場所：仙台市市民活動サポートセンター 3階 研修室1

ファシリテーター：綿引 周（てつがくカフェ@せんだい）

参加費：無料

事前申込み：不要（直接会場にお越しください）

問い合わせ先：E-mail tanishi@hss.tbgu.ac.jp（西村まで）

てつがくカフェ@せんだい HP：<http://tetsugaku.masa-mune.jp/>

■お知らせ：てつがくカフェ「志賀理江子展『螺旋海岸』から考える」■

日時：11月25日[日]15:00～17:00 場所：せんだいメディアテーク7階スタジオa 参加無料（事前申し込み不要、直接会場へ）

詳細は、<http://www.smt.jp/rasenskaigan/> をご覧ください。